

質問づくりで未来の学びを

～21世紀の学びは学び手の質問から～



未来の先生展
2017

ワークショップ形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館2F 208教室

司会者 佐藤 賢一 木村 成介 平野 貴美枝

内容

教師に指示されているかぎり、僕らは何も学んでない。「質問づくり」(Question Formulation Technique)はRQI(正問研究所)によって開発された新しい教育メソッドです。提示された「質問の焦点」を元に学び手が質問を作っていくことで、高次な3つの思考力(発散思考、収束思考、メタ認知思考)を養います。今回のワークショップではこの「質問づくり」を参加者の皆さんに体験していただきます。「質問づくり」を体験して、未来の先生が教育に果たす役割、学び手との関係性の変容などを一緒に考えましょう。

ここに注目!

「先生が質問して生徒が答える」から「生徒自身が質問を作り出し自ら探求する」...このパラダイムシフトが可能になるのが「質問づくり」のメソッドです。たった1つを変えるだけで大きな変化が—世界中の教育者が「画期的」「革命的」な教育法として絶賛しています。

「生徒の学び方がこんなに変わるほど深い影響力をもつものに出会ったのはこれが初めてです。生徒がすぐに自分の学びに入り込み、そして自分のものにしたんです」-メアリー・フレット (米カリフォルニア州ソノマ州立大学、客員教授)

団体(個人)プロフィール



ハテナソン共創ラボは、問いをもつ学びを学び、わかち合うための手法や場を創ることを主な事業としている京都発の特定非営利活動法人です。わたしたち一人一人のふだんの学びや仕事と、地域・社会・世界とがよりよく接点をもつこと。その接点から新たな価値や知識・知恵がどんどんと生まれること。新たな価値、知識や知恵がさらにむすびつき、さまざまな社会課題への挑戦と解決が可能となる“知の連鎖・連帯”共創社会が作られていくこと。こうしたことに、わたしたちハテナソン共創ラボの取り組みが役立ってほしいと願っています!

参加者へのメッセージ

教師が発問し、言われた正解を暗記するだけ
このような教育を受けた生徒が作る未来はどのようなものでしょう

自分たちの質問に焦点を当てる
自分たちの質問を解き明かし探求していく

そのとき生徒の知的好奇心が刺激され、学びに責任感が生まれ
一過性ではない持続した学習行動が涵養されていく

生徒が主体的に学び始めたらときめく未来が待っている

生徒に学ぶことができる未来の先生になろう～!